

第2号様式（第3関係）

令和5年度第3回豊山町障害者福祉審議会議事録

1 開催日時

令和6年2月20日(火) 午前11時～午前11時30分

2 開催場所

豊山町役場 3階 会議室5

3 出席者

(1) 豊山町障害者福祉審議会委員

委員	日本福祉大学教育・心理学部	准教授	今井 理恵
	いなざわ特別支援学校高等部	主事	仲 綾乃
	特定非営利法人太陽 七彩工房	精神保健福祉士	丹羽 孝旨
	豊山町民生委員・児童委員協議会	監事	岡島 千衣子
	豊山町福祉作業所保護者会		伊礼 京子
	手話サークル豊友	代表	安藤 省子
	公募		大野 安彦

(2) 町

生活福祉部長	井上 武
生活福祉部福祉課長	四浦 かおり
生活福祉部福祉課福祉グループ長	佐々 聖尚
生活福祉部福祉課福祉グループ主任	中村 佳代子

(3) オブザーバー

N e x t - i 株式会社名古屋支店	宮部 泰輔
-----------------------	-------

4 欠席者

委員	豊山町社会福祉協議会	理事	岡島 義広
	点字友の会	代表	河村 環

5 議題

- ①パブリックコメントの結果について
- ②豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）【案】の答申について

6 会議資料

次第

資料1 パブリックコメント結果シート【資料No.1】

資料2 豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）（案）
【資料No.2】

豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）（案）第2
回審議会からの変更箇所対照表

7 議事内容

【事務局】 ただ今より、令和5年度第3回豊山町障害者福祉審議会を開催いたします。委員の皆様には日頃から本町の障がい福祉にご尽力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

また、本日の審議会の会議録につきましては、発言者の氏名を除いて公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに、町長よりご挨拶を申し上げます。

（町長あいさつ）

【事務局】 ありがとうございます。町長は、公務がありますので、これで退席させていただきます。次に今井会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

【会長】 本日もお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年度3回目の審議会ということで、次第にもありますように、パブリックコメントの結果についてと、豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）（案）の答申について、事務局より説明があります。委員の皆様からのご意見、ご質問をいただきまして、審議を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

ここで審議会の資料の確認をお願いいたします。

(資料確認)

それでは、これからの進行につきましては、会長をお願いいたします。

【議題】

①パブリックコメントの結果について

【会 長】 ただいまから、議事の進行をさせていただきます。皆様方の特段の御協力をよろしくお願いいたします。では、次第に従いまして、まず、議題1の「パブリックコメントの結果について」、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】 議題1「パブリックコメントの結果について」説明

【会 長】 説明が終わりました。委員の皆さんからのご意見、ご質問がありましたらいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

では質問もないようですので、続いて議題2「豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）【案】の答申について」、事務局よりご説明をお願いします。

②豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）【案】の答申について

【事務局】 議題2「豊山町障害者福祉計画（第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）【案】の答申について」と第2回審議会からの変更箇所について説明

【会 長】 説明が終わりました。委員の皆さんからのご意見、ご質問がありましたらいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

【委 員】 よろしいですか。計画案について、概ね賛成させていただきたいと思えます。広範な分野での支援サービスが盛り込まれていると思えます。その中で、特に強調して申し上げたいことは、地域生活支援事業の中の移動支援ですね。障がいのある方の移動を保障する支援というのは、計画の趣旨、社会参加、共生社会への障がいのある方の漏れなく参加していくというような趣旨からいってもかなり重要だと思えます。移動の自由を保障していくことは、障がいの有無にかかわらず、人間の権利として、一番基本的なものであると思えます。特に障

がいのある方が社会参加していく上で、移動をどのように支援してくかが大きな問題だと思います。それで、主にそれを担っているのが、地域生活支援事業の中の移動支援だと思います。その点、残念ながらというか、豊山町は、移動支援の単価が隣の市と比べてまだまだ低いので、できれば改善していただければというように思います。計画にわざわざ盛り込むような内容ではないと思いますが、新年度予算では間に合わないかもしれない。そこは分かりませんが、できることなら、移動支援の単価をもう少し、せめて近隣市並みにしていただけると、もっと移動支援の利用が進むのではないかなと思います。

少し具体的な話になりますけども、豊山町でも、一応、社会福祉協議会が移動支援をやってみえますが、いかんせん土日休みです。そうすると、例えば、名古屋市事業所に地活で移動支援をお願いするという時に、結局、わざわざ豊山町まで来て移動支援して、単価が低いとなると、メリットないですね。他市の、名古屋市もありますし、清須市、北名古屋市にも、少ないですけども、移動支援をやっているところはありますが、結局、そうすると、豊山町に住む町民の人は、移動支援を使おうと思ってもなかなか使いづらい。そうすると、ただでさえ、社会参加、なかなか難しいところで、よそに出かけていく、気軽に自由に出かけていくということが非常に困難になっている状況があります。利用実績を見ても、移動支援は利用者数が少ないと思いますが、決してニーズがないわけではなくて、今申し上げたような、まだまだ使いづらい状況があって、ニーズが少ない状況にとどまっていると思います。ぜひ、名古屋市とか北名古屋市並みの単価にしていただけると、もう少し広がっていくのではないかと思いますので、そこをお願いできればと思います。以上です。

【事務局】 貴重なご意見をいただきましたので、近隣自治体を参考にしながら検討したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会長】 ありがとうございます。他にご意見はありますか。

【事務局】 今のお話で、ページ数ですと34ページですね。移動支援事業で、実績と見込みを載せておきまして、第6期の、過去3か年の数値ですと、実利用者数は増減していますけども、委員がおっしゃられたように、見込み値も上げているものですから、近隣市を分析しまして、より良い障がい福祉サービスにつなげていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員】 この実績はちょうどコロナ禍で、外出支援や移動支援も、どこの事業所も自粛していた背景があるかと思います。本当はもっと潜在的なニーズはたくさんあるかと思うので、ぜひその辺を考えていただきたいです。以上です。

【会長】 他の委員からご意見・ご質問はありますか。

【委員】 学校では、今、不登校の子たちがとても増えていて、学校にいる間は、義務

教育だったり、高等部だったりの間は、学校の方で連絡を取ったりということができていますけども、結局、不登校でお家に引きこもってしまうと、地域に戻った時に、何かのサービスを使うというよりは、お家でお母さんと家族だけで過ごすというところがこれからますます増えてくるのではないかなということが予想されます。サービスというものだけではなくて、やはり包括的に家庭を支えるというか、地域の子どもたち、大人になっていく段階で、ずっと支えていていただけるとありがたいなと学校としては思います。

【会 長】 事務局いかがですか。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。引きこもりの問題とかは、地域の問題となっておりますので、それについても、地域で支えられるような形でやっていきたいと思えます。また、もう1つの計画の第4次豊山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を進めていまして、そちらの方で、不登校だとかの件を整備しておりますので、関係部局と連携を図りながら、引き続き、より良い体制でやっていけたらと考えています。

【会 長】 ありがとうございます。他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

では、次に議題の4その他について事務局から何かあればお願いします。

【事務局】 はい、この後答申について今井会長から町長に手渡ししていただきます。また、本日答申いただきました内容で計画書の冊子を印刷していく流れになりますが、3月下旬には委員の皆様にお配りできるよう準備を進めていきたいと思えますのでよろしく願いいたします。その他としては以上になります。

【会長より町長に答申】

【会 長】 それでは、本日の議題はすべて終了しました。これをもちまして、令和5年度第3回豊山町障害者福祉審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

【事務局】 今井会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議をいただきましてありがとうございました。本日の審議会の報酬につきましては、3月中旬にお支払いする予定でございます。本日は、ありがとうございました。